

# れんけい

## 第20号

編集・発行 アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局



### 巻頭あいさつ

ACFの中期ビジョン ～現在とこれから～  
アカデミア・コンソーシアムふくしま事業推進会議 議長 塘 忠顕

ACFの各種事業推進に対する会員機関の皆様のご支援とご協力に改めて感謝申し上げます。

ACFの現在の事業は、平成28年5月に策定した第3期中期ビジョンに基づいて推進していますが、このビジョンでは、産官学の連携・協働推進を基本方針に掲げています。昨年度と今年度、福島県から受託した「リーディング起業家創出事業」は、大学発ベンチャーの県内創出を実現させ、本県の復興・創生に向けた雇用創出や経済発展に貢献することを目的としたもので、この基本方針を象徴する事業です。教員を対象としたシーズ発掘と企業とのマッチングだけでなく、未来の起業家育成を目的とした学生のアントレプレナーシップ醸成も実施しています。今年度も会員機関の皆様の積極的なご参加・ご協力をお願いします。

ところで、現在のビジョンは令和3年3月までのもので、そろそろ次期中期ビジョン策定の準備を始める必要があります。次期ビジョンについても、会員機関の皆様から忌憚のないご意見を頂戴できればありがたいです。よろしくお願いいたします。

### 福島テックプランター キックオフイベントを実施しました

6月8日（土）郡山市ビックアイにて、福島テックプランターのキックオフイベントが行われました。

福島テックプランターは、福島県からの受託事業である「リーディング起業家創出事業」の中の一つで、福島県内の大学等による大学発ベンチャーの候補の発掘、事業の立ち上げを支援する取り組みです。

昨年度第1回目の福島テックプランターが開催され、今年は2回目の開催となります。

今回のキックオフイベントは、本番のテックプランターを前に、参加者同士の交流を深めようというイベントで、エンター希望者、パートナー企業、ゲストの20名に参加いただきました！

第1回福島テックプランターのファイナリストで、福島県医科大学発ベンチャーとして起業された、エースバイオアナリシス株式会社 代表取締役 志村清仁氏の基調講演や、テックプランターへのエンター希望者やパートナー企業など、3分間のプレゼンテーションを通して、自分の研究アイデアや思いを語り合いました。お互いの話を聞くことで、新しい興味や発見が生まれる場になったようです。

今回は、全員参加ということで、われわれ主催者やゲスト参加の方々もショートスピーチを行いました。

会場にいる全員が参加したことで、より参加者同士の距離が近づき、最後の記念撮影は最高の笑顔で締めくくることができました！



## 高大接続事業

令和元年度より、アカデミア・コンソーシアムふくしまと地元の高校が協働で進める高大接続の取組がさらに発展しました。

### 安積黎明高等学校

まずご紹介するのは、初めて連携することとなった郡山市の福島県立安積黎明高等学校との協働事業です。同校では、課題探求学習に関する学習指導要領の見直しを見据え、地元郡山市の課題にすべての高校2年生が立ち向かう授業を実施しており、秋に行う郡山市の政策への提言を兼ねた成果報告会に向けて、高校生各々が専門的な知見を得ながら、我が事として地域の課題と解決策を研究し、郡山市をより良くするための意見として提言する予定です。

しかしいくら県内屈指の進学校である同校でも、大学で扱うようなテーマはちょっと難しいところ。そこで、アドバイザーとして主に市内の理工系の大学の教員に関わっていただくことになりました。今年度は、日本大学工学部の朝岡良浩先生、武藤伸洋先生、佐藤健二先生、奥羽大学の志村紀子先生、福島大学の平修先生の5名がアドバイザーを務めます。5月8日(水)には、通常の出前講義とは異なる趣で、「私はこういう分野の研究者です」「だからこういう質問には答えられます」ということを中心に伝える講義を行っていただきました。これから秋に向けて、アドバイスを求める生徒がアドバイザーを頼ってくれることを期待したいところです。



### 会津若松 ザベリオ学園高等学校

また、昨年度も連携した会津若松市の会津若松ザベリオ学園高等学校と今年度も連携しますが、今年は通年の取組に発展しました。

同校は高校生のうちから海外に行く機会に恵まれた教育環境が特徴です。その機会をより有効に使って、さらに大きく飛躍してほしいという同校の先生の願いから、「国際化」とか「グローバル化」が意味することとは何なのかを考えられる生徒になってほしいと、今年度はそうしたテーマで県内の大学教員によるオムニバス形式の講義が行われることとなりました。

5月10日の初回は会津大学の川口立喜先生による異文化理解をテーマとした授業、また5月30日の2回目は東日本国際大学の田村立波先生が文化的ロゴをテーマとした授業でした。なにしろ、ついこの前までは中学生だった高校1年生にとっては、新鮮な内容の講義だったに違いありません。今後、このお二人の先生に加え、福島大学の朱永浩先生も講義を行う形で、計6回の講義が行われる予定です。1年間の学習の成果を活かして、充実した海外研修にできることを期待しています。





## ふくしまキッズ博 今年も始動！

今年も7月27日(土)、28日(日)の「ふくしまキッズ博」において、会場内で創作あそびコーナーを運営する学生ボランティアチーム“学生事務局”が始動しました。

福島の子どもたちに笑顔を届け、そして元気に遊ぶ場を提供したい。そのような思いで始まった「ふくしまキッズ博」も、早いもので今年で8年目となります。以前、「自分の子どもを連れて来たいから、そのときまで続けてほしい」と言い残して巣立った学生がおり、携わる教職員一同がその言葉に感動したりしたのですが、その卒業生の夢にまた一歩、近づきました。

今年は福島学院大学、同短期大学部、桜の聖母短期大学、福島大学の学生40名が参加し、5月31日(金)のミーティングですでに「釣り」「ぶんぶんゴマ」「楽器づくり」「ニンジャごっこ」の提供する“あそび”が決まり、それぞれの“あそび”ごとに担当する4チームの編成も完了しました。実は「ぶんぶんゴマ」や「ニンジャごっこ」は過去に先輩たちがやったことのないテーマ。そのため、何か困ったことが起きてても、頼りにできる先例を各々が持ち寄りねばなりません。これから先、どんな試練が待ち構えていて、どんな試行錯誤を重ねるのか、楽しみなところです。今後、夏の本番に向け、定期的に集まりながらチームごとの準備を進めていく予定です。

今年も会場は福島市のあづま総合体育館です。小さなお子様のいらっしゃる皆様、是非、会場に足をお運びください！



## 子どもと青年異世代交流事業

幼少期の外遊びは、基礎的な体力づくりのほか、コミュニケーション能力の向上や協調性の向上など、多様な効果が期待されます。しかし東日本大震災以後、放射線を気にして外遊びをできなかった子どもが増え、それを裏付けるように子どもの肥満率も高くなっています。それに加え、そもそも外遊びの習慣が少ない子どもたちが、近い将来、保育士や幼稚園教諭として、次の世代の子どもを育てる側に回ります。

そのような課題意識の下、フォレストパークあだたらをフィールドに実施しているのが、この子どもと青年の異世代交流事業で、今年度は2年目となります。

5月26日(日)、早速今年度初回の活動が行われました。今年は郡山女子大学短期大学部と福島学院大学短期大学部の学生12名が参加し、初回はアイスブレイク、フォレストパークあだたらのフィールドの下見の後、幼少期に経験した自然あそびに関するワークショップを実施しました。今後、11月17日(土)に実施する親子向けイベントを目標に、その準備を重ねていく予定です。



## 森林自己学習支援事業

森林の多い福島県らしい教育プログラムとして始まった、福島県の森林自己学習支援事業ですが、4年目となる今年も学生募集を行い、6月7日時点で4団体が動くための準備に着手しました。まだほとんどの団体が本格的な活動には着手できておりませんが、今年は2団体が新たにエントリーするなど、顔ぶれにも変化がありましたので、早くもこれからの展開に注目が集まっています。

今年もほぼ活動が終了するタイミングである冬季に、採択された各団体による合同の成果報告会と勉強会を行う予定です。その日程や会場、内容はこれから決めていくこととなりますが、決まりましたらアカデミア・コンソーシアムふくしまのFacebookページなどを通じてご案内いたしますので、彼らの森林をテーマとした自己学習の応援をよろしくお願いいたします。



## 今後の活動予定

- 7月4日(木)・・・会津若松ザベリ才学園高等学校出前授業（田村先生②）
- 7月21日(日)・・・子どもと青年の異世代交流事業@フォレストパークあだたら
- 7月27日(土)・・・福島テックグランプリ@郡山
- 7月27日(土)・28日(日)・・・ふくしまキッズ博@あづま総合体育館
- 7月31日(水)・・・進路セミナー（福島東稜高校）@磐梯青少年交流の家
- 8月31日(土)・9月1日(日)・第16回大学コンソーシアム研究交流フォーラム@熊本学園大学



## 学校レポート！

### 日本大学工学部 70号館

これまでの「れんけい」では学食レポートばかりでしたが、今回からパワーアップして、すーっと気になっていた各会員校の“何か”を取材し、ご紹介します！  
初回の今回ご紹介するのは、郡山市の日本大学工学部。キャンパスをてくてく歩いていくとひととき目立つ建物がかねてから気になっていたの、同校のACF担当であるHさんにご案内いただきました。

この建物は70号館といい、工学部で行われる座学形式の講義のほとんどを行う建物です。吹き抜けになっている中央部をクロスする形で設けられている渡り廊下は、まるで学園モノのドラマに出てくる風景！1階には知性を感じる落ち着いた内装の、階段教室があります。

そして、最上階にある展望室から眺められる360度の展望は素晴らしい！北西を見れば華やかな郡山市中心部が、南東を見れば初夏の緑が美しい田園風景という展望は、ここでなければ見られない景色です。

業務中ながらご案内をいただきましたHさん、ありがとうございました！

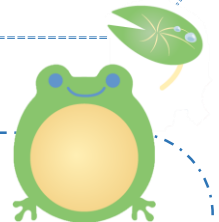


日大オリジナルのミネラルウォーターを自販機で購入できます！



## ACF事務局から

ACF事務局渡邊 優子



みなさま、はじめまして。今年1月から事務局でお世話になっております。渡邊と申します。このお仕事を通じて思うのは、今まで福島県にいながら福島市以外の地域へ赴いたことがなかったということです。

私は生まれも育ちも福島県福島市ですが、これまでいわきや会津へ行く機会があまりありませんでした。少なくとも震災後はいわきや会津に行く機会もなかったため、距離感もつかめず、同じ県内ですが、なんだか遠い存在になっていたことに気づきました。

それが今回、実際に県内の各学校にお邪魔して実際、いわき市や会津若松市までの距離を体感できたことで、あまり長距離運転をしない私でも一人で行けそうだという自信にも繋がりました。

また、ACFでは会員校の皆様、事業推進会議や理事会などで事務局のある福島大学にお越しいただく機会がありますが、遠くから足を運んでいただく方々への感謝の気持ちも増します。

実際に自分の足で訪れることの大切さを感じました。

〒960-1296  
福島市金谷川1番地 福島大学 地域連携課内  
アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局  
【TEL】024-548-5295【E-mail】[acf@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:acf@adb.fukushima-u.ac.jp)  
【URL】<http://acfukushima.net/>  
<http://acfukushima.net/News/renkeibacknum.html> ←バックナンバーはこちらから  
【Facebook】<http://www.facebook.com/ACFukushima/>

